

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

「平成 30 年（2018 年）9 月の外国人客宿泊状況調査」について

（公社）京都市観光協会および（公財）京都文化交流コンベンションビューローでは、京都市内の主なホテルの協力を得て国・地域別の外国人客宿泊状況調査を毎月行っております。

このたび、平成 30 年（2018 年）9 月の外国人客宿泊状況調査結果をとりまとめましたのでお知らせします。※今回から、対象ホテルが 39 から 40 に増加しました。

1 調査結果のポイント

台風 21 号の影響で外国人客が 6.2%減少するも影響は限定的 ～欧米豪は増加を維持～

9 月の外国人実人数は前年同月比で 6.2%減少した。9 月 4 日に台風 21 号が関西地方を直撃し、関西空港が一時閉鎖されたことなどが影響したと考えられる（P8 参照）。

しかしながら、関西空港の 9 月の国際線外国人旅客数が同 49%減少した（関西エアポート株式会社「2018 年 9 月利用状況（速報値）」）ことを踏まえると、京都 40 ホテルにおける、その閉鎖の影響は限定的であった。これは、京都観光において、航空路線網の関係から、一般的に成田・羽田の両空港から入国する欧米客の割合が比較的高いことが背景にあるといえる。事実、エリア別において、実人数の前年同月比で東アジアが 19.8%減少したのに対し、ヨーロッパは 14.0%増、北米は 7.0%増、オセアニアは 0.9%増と欧米豪は増加傾向を維持した。更にイスラエルは、同 186.5%増の大きな伸びで、ユダヤ教の三大祭のうちの一つである仮庵の祭り（スコット）の休暇時期が、前年は 10 月上旬であったのに対し、今年は 9 月下旬であったことも影響していると考えられる。

日本人客の減少が相対的に大きく、外国人利用割合は 41.9%と 9 月として過去最高

外国人利用割合は、日本人客が前年同月比 8.4%減と、外国人客の 6.2%減を上回る減少幅であったことから、前年同月差 0.6%増の 41.9%と 9 月としての最高値を更新した。

国・地域別の構成比では、中国が前年同月差 0.7 ポイント増の 26.3%で、15 ヶ月連続で 1 位となった。続いて、アメリカが同 1.6 ポイント増の 14.0%、台湾が 6.4 ポイント減の 8.6%と、調査開始以来、9 月として初めてアメリカが 2 位となった。

客室稼働率は 9 月として最低値の 82.9%となるも、客室平均単価（ADR）は 2.3%上昇

日本人を含む全体の客室稼働率は、前年同月差 6.5 ポイント減の 82.9%となり、調査開始以来 9 月として最も低い値を記録した。これは本年において 1 月の 73.4%に次ぐ低い水準である。

京都市観光協会が提携する STR の調査結果によると、客室収益指数（RevPAR）は前年同月比 5.6%減であった。同 20.1%減の大阪、北海道胆振東部地震（9 月 6 日）の影響で 34.9%減の札幌と比較すると、減少幅は限定的で、客室平均単価（ADR）は両市がそれぞれ 6.3%減、5.8%減と低下したのに対し、京都は同 2.3%増と上昇を維持した。

宿泊実人数構成比				宿泊実人数伸率	
順位	国・地域	構成比	前年同月差	国・地域	前年同月伸率
1	中国	26.3%	+0.7 ポイント	イスラエル	+186.5%
2	アメリカ	14.0%	+1.6 ポイント	スイス	+65.1%
3	台湾	8.6%	▲6.4 ポイント	フィンランド	+52.0%
4	オーストラリア	7.2%	+0.5 ポイント	ドイツ	+34.0%
5	韓国	5.6%	▲0.1 ポイント	イタリア	+30.5%

2 調査のあらまし

(1) 概要

外国人宿泊状況をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主なホテルの協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ人数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（協会、ビュロー調べ）

なお、本調査における外国人は、日本国籍以外のパスポートを有する人で、ビジネス、観光を問わない。

(2) 対象ホテル（平成 30 年 9 月現在）

- ・40 施設 9,807 室 ※市内ホテルの客室ベースで約 4 割をカバー
- ・P5 の客室収益指数（RevPAR）等の数値は、ホテルデータサービス会社、STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記 40 ホテルとは対象が異なる。

(3) 分析数値

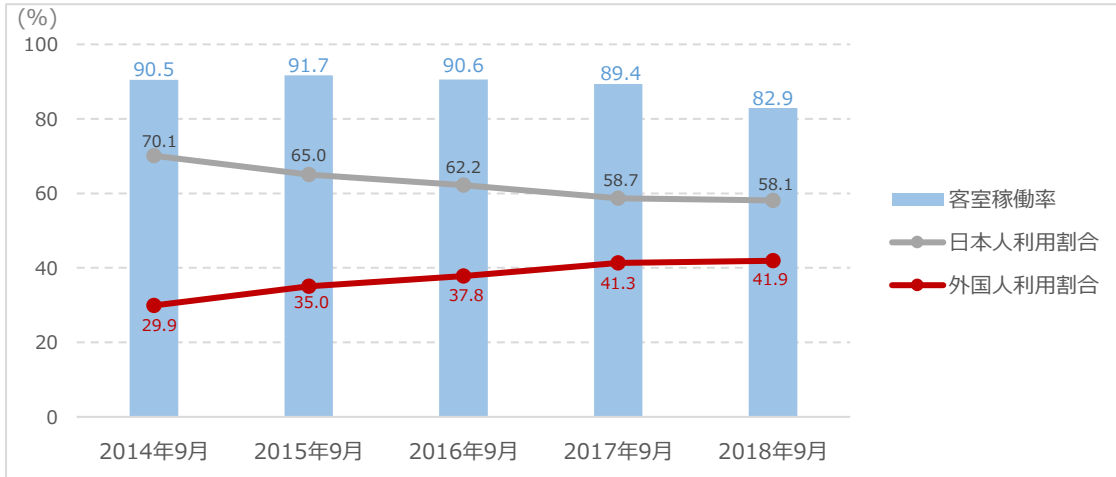
「客室稼働率」「外国人利用割合」は、「延べ部屋数」の集計による。「構成比」「伸率」は、日本政府観光局（JNTO）統計や京都観光総合調査との比較を行う観点から、「実人数」の集計による。なお、京都 40 ホテルの「構成比」は外国人客における国・地域別割合である。「日本全体」については、日本政府観光局（JNTO）発表の「訪日外客数（訪日外国人旅行者数）」を示す。

<京都観光総合調査との関連について>

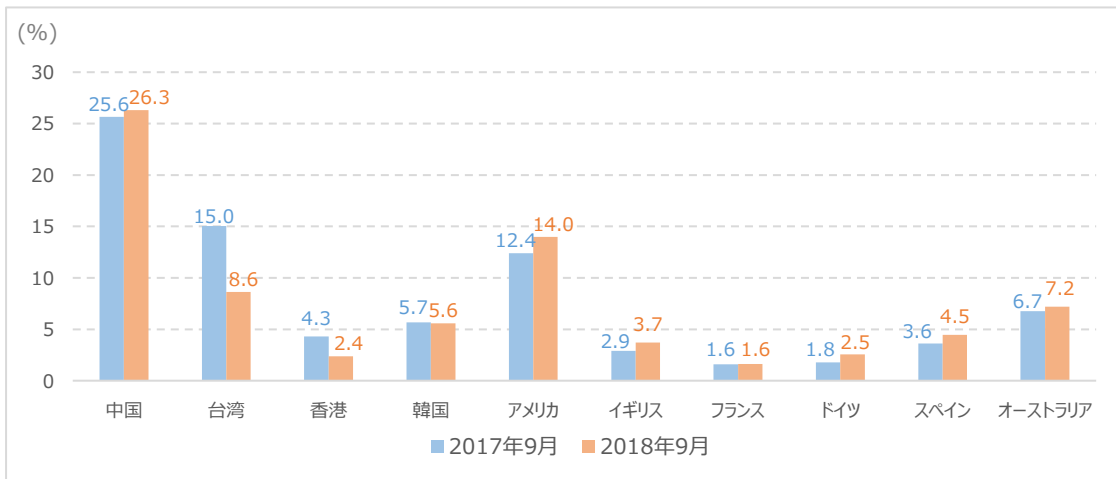
京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設（旅館業法許可施設）を対象とする「京都観光総合調査」（京都市から年 1 回発表）が基本指標となる。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するため、京都市内の主なホテルを対象とするサンプル調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数（日本全体）との比較等も参考分析という位置づけとなる。

平成 30 年 9 月 外国人客宿泊状況調査結果 (40 ホテル)

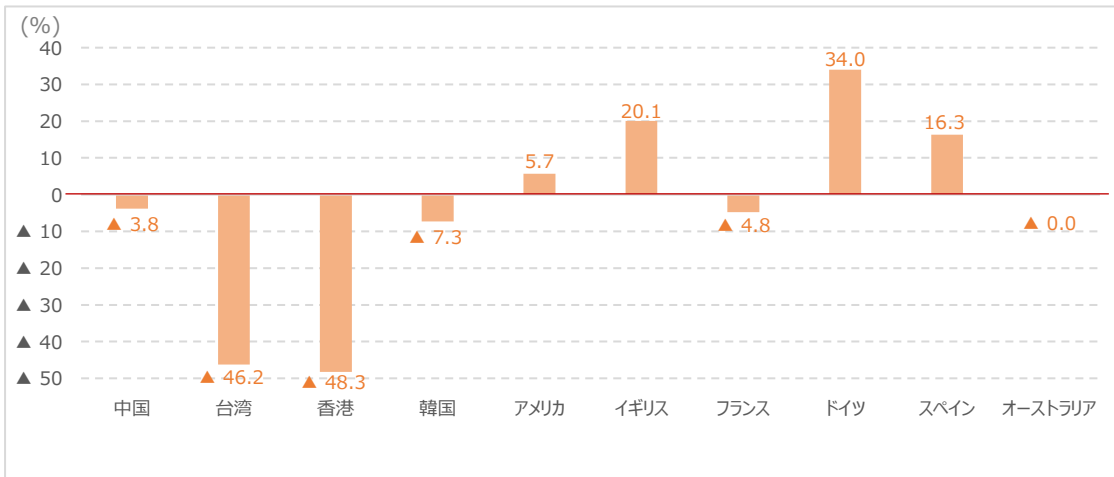
1 客室稼働率・利用割合



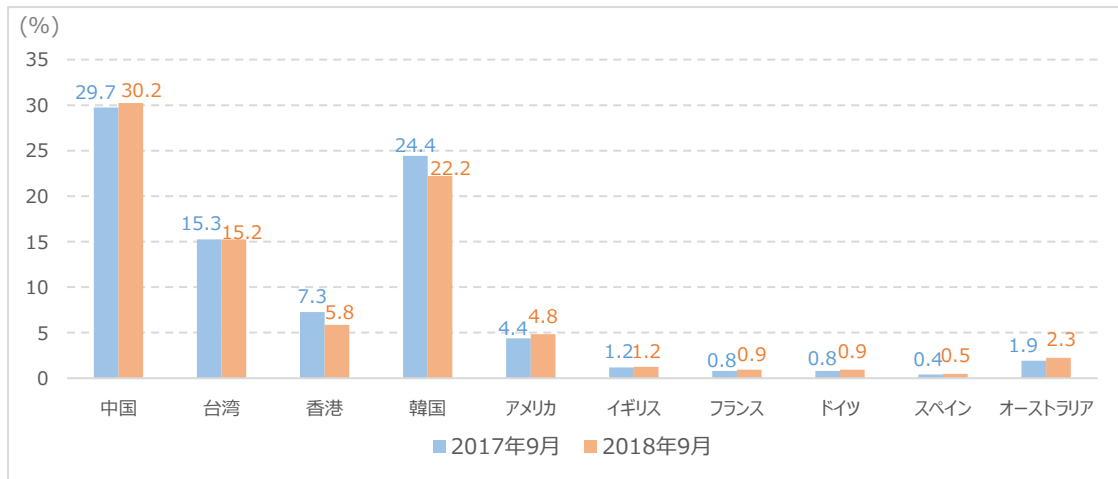
2 京都 40 ホテル・構成比 (国・地域別)



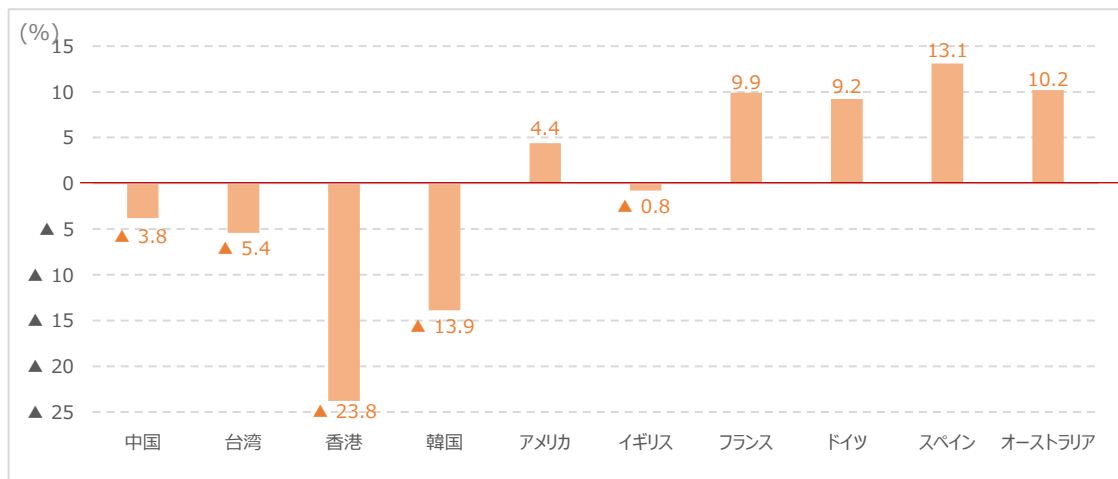
3 京都 40 ホテル・実人数伸率 (国・地域別)



4 日本全体・構成比（国・地域別）

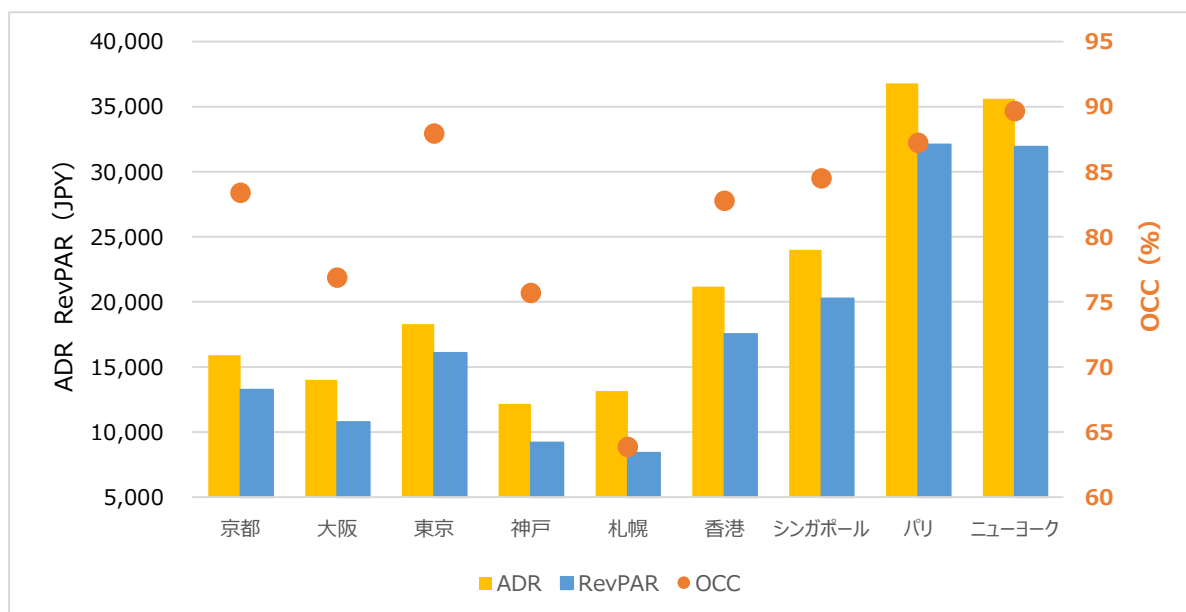


5 日本全体・訪日数伸率（国・地域別）



【参考 1】 客室収益指数等の他都市比較（出典：STR）

2018年9月 主要都市別 OCC・ADR・RevPAR



2018年9月 主要都市別 OCC・ADR・RevPAR 伸率（前年同月比）

	OCC伸率 (%)	ADR伸率 (%)	RevPAR伸率 (%)
京 都	▲ 7.8	2.3	▲ 5.6
大 阪	▲ 14.7	▲ 6.3	▲ 20.1
東 京	1.5	6.0	7.7
神 戸	▲ 9.5	5.2	▲ 4.8
札 幌	▲ 31.0	▲ 5.8	▲ 34.9
香 港	▲ 4.2	9.0	4.4
シンガポール	4.2	0.5	4.7
パ リ	3.5	19.1	23.3
ニ ュ ー ヨ ー ク	▲ 1.4	0.6	▲ 0.7

【用語解説】

OCC Occupancy Ratio の略で客室稼働率を示す。

ADR Average Daily Rate の略で平均客室単価を示す。

RevPAR REVENUE Per Available Rooms の略で客室収益指標を示す。販売可能客室数あたりの客室売上の数値で、客室稼働率（OCC）×平均客室単価（ADR）で算出される。

当データの、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられております。報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：桑田）までお問合せください。

【参考 2】 京都旅行に影響すると考えられる主な国際航空路線の増減

	期間	路線	航空会社	分類	1週間あたり数
2018年	8月11日	羽田=仁川	チエジュ航空	新設	2便
	9月5日	関西=ジャカルタ	ガルーダ・インドネシア航空	再開	3便
	10月2日	関西=マニラ	ジェットスター	再開	3便
	10月26日	関西=オークランド	ニュージーランド航空	再開*	3便
	10月28日	関西=ドバイ	エミレーツ航空	新設	7便
	10月28日	成田=ヘルシンキ	フィンエア	増便	7便→9便
	10月28日	成田=モスクワ	日本航空	減便	7便→4便
	10月28日	成田=成都	全日空	減便	7便→4便
	10月28日	中部=上海	全日空	廃止	7便→廃止
	10月28日	成田=ロサンゼルス	全日空	減便	14便→7便
	10月28日	関西=香港	全日空	廃止	7便→廃止
	10月28日	中部=台北	スターフライヤー	新設	7便
	10月28日	北九州=台北	スターフライヤー	新設	7便
	10月28日	成田=香港	バニラエア	増便**	7便→14便
	10月28日	那覇=台北	バニラエア	増便	7便→14便
	10月28日	成田=台北	バニラエア	減便**	28便→21~28便
	10月28日	成田=セブ	バニラエア	廃止	7便→廃止
	10月28日	名古屋=ヘルシンキ	フィンエア	増便	5便→6便
	10月28日	関西=ダナン	ベトナム航空	新設	7便
	10月28日	関西=台北	ジェットスター	再開	7便
	10月28日	中部=台北	ジェットスター	再開	7便
	10月28日	関西=香港	全日空	運休	7便→運休
	10月28日	中部=上海	全日空	運休	7便→運休
	10月28日	北九州=台北	スターフライヤー	新設	7便
	10月28日	中部=台北	スターフライヤー	新設	7便
	10月29日	関西=バンコク	ノクスコート	新設	4便
	10月30日	中部=バンコク	タイ・エアアジアX	新設	7便
	11月8日	関西=ハノイ	ベトジェット航空	新設	7便
2019	4月1日	関西=ロンドン	ブリティッシュ・エアウェイズ	新設	4便
	4月1日	関西=フランクフルト	ルフトハンザ	廃止	7便→廃止
	4月1日	関西=ミュンヘン	ルフトハンザ	新設	7便

* 季節運航便

** 一部期間の増減

出所) 本邦航空会社プレスリリースおよび関西エアポート新規就航情報をもとに作成

(注) 網掛け部分は、前月のレポートから更新した情報

【参考 3】 為替レートの推移

月平均 Telegraphic Transfer Buying (「外貨」を「円」に交換するときのレート)

(数値が小さくなるほど、円高となり、外国人観光客にとっては不利)

		米 ドル	ユーロ	英 ポンド	豪 ドル	香港 ドル	台湾 ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン※
2015	12月	120.9	131.0	178.9	86.3	15.3	0.27	18.4	3.31	10.21
2016	1月	117.3	127.0	166.5	81.1	14.8	0.28	17.6	3.20	9.66
	2月	114.1	126.1	160.7	80.1	14.4	0.29	17.3	3.15	9.27
	3月	112.0	124.1	156.7	82.5	14.1	0.29	17.1	3.13	9.34
	4月	108.8	123.0	152.9	82.2	13.7	0.29	16.6	3.05	9.38
	5月	108.1	121.6	154.5	77.6	13.6	0.30	16.4	3.00	9.09
	6月	104.5	117.0	145.9	75.9	13.2	0.30	15.7	2.91	8.84
	7月	103.0	113.5	132.8	76.2	13.0	0.31	15.3	2.89	8.91
	8月	100.3	112.1	128.9	75.2	12.6	0.31	14.9	2.84	8.93
	9月	101.0	112.8	130.3	75.4	12.7	0.31	15.0	2.86	9.01
	10月	102.8	112.9	124.2	77.1	13.0	0.30	15.1	2.89	9.03
	11月	107.1	115.2	130.4	79.4	13.5	0.29	15.5	2.98	9.12
	12月	115.0	120.8	140.8	83.2	14.5	0.27	16.5	3.16	9.62
2017	1月	113.8	120.6	137.6	83.8	14.4	0.27	16.5	3.16	9.55
	2月	112.1	118.9	137.3	84.6	14.2	0.27	16.2	3.15	9.70
	3月	112.0	119.2	135.5	84.1	14.1	0.27	16.1	3.16	9.78
	4月	109.1	116.5	135.0	81.1	13.7	0.27	15.7	3.12	9.54
	5月	111.3	122.6	141.0	81.4	14.0	0.27	16.0	3.18	9.79
	6月	109.9	123.0	138.0	81.7	13.8	0.27	16.0	3.18	9.63
	7月	111.4	127.9	142.0	85.5	14.0	0.27	16.3	3.25	9.73
	8月	108.9	128.4	138.6	85.1	13.6	0.27	16.2	3.23	9.54
	9月	109.7	130.4	143.1	86.2	13.7	0.27	16.6	3.26	9.60
	10月	112.0	131.4	145.2	86.1	14.0	0.26	16.8	3.32	9.78
	11月	112.0	131.0	145.3	84.1	14.0	0.26	16.8	3.35	10.05
	12月	112.0	132.2	147.5	84.4	14.0	0.26	16.8	3.38	10.23
2018	1月	109.9	133.8	149.4	86.3	13.8	0.26	17.0	3.40	10.20
	2月	107.0	132.0	147.1	83.1	13.4	0.27	16.8	3.36	9.83
	3月	105.1	129.4	144.2	80.4	13.1	0.27	16.5	3.31	9.71
	4月	106.4	130.6	147.5	80.7	13.3	0.27	16.8	3.36	9.88
	5月	108.7	128.2	143.9	80.6	13.6	0.27	17.0	3.35	10.01
	6月	109.0	126.9	142.2	80.5	13.6	0.27	16.7	3.31	9.88
	7月	110.4	128.7	142.7	80.5	13.8	0.27	16.3	3.27	9.74
	8月	110.1	126.8	139.1	79.5	13.7	0.27	15.9	3.28	9.72
	9月	110.9	128.9	142.1	78.5	13.9	0.27	16.0	3.35	9.81

※韓国ウォンは 100 ウォンあたりのレート 出所) 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 外国為替相場

【参考4】台風21号後の関西国際空港における運航状況

【発着回数】 ※関西エアポートおよび各航空会社の発表資料をもとに作成

日付	概要	計画比	発着回数	うち国際線	うち国内線
9月4日(火)	12時に滑走路閉鎖	17.8%	86	57	29
9月5日(水)	全社欠航				
9月6日(木)	全社欠航				
9月7日(金)	国内線が一部再開 (Peach・JAL)	3.8%	19		19
9月8日(土)	国際線が一部再開 (Peach・ANA)	9.6%	47	14	33
9月9日(日)	春秋航空が一部再開	14.3%	70	28	42
9月10日(月)		14.6%	72	30	42
9月11日(火)		15.7%	76	30	46
9月12日(水)	Jetstar・チエジユ航空が一部再開	18.1%	86	33	53
9月13日(木)		17.8%	88	34	53
9月14日(金)	T1 南部分再開・ANA 国内線が一部再開	39.6%	196	115	81
9月15日(土)	JAL 国際線が一部再開	43.5%	213	129	84
9月16日(日)	バニラ航空が一部再開	42.7%	209	120	89
9月17日(月)		46.6%	230	140	90
9月18日(火)		52.3%	253	140	113
9月19日(水)		56.1%	266	152	114
9月20日(木)		55.4%	273	152	121
9月21日(金)	T1 全面再開・鉄道再開	93.7%	464	336	128
9月22日(土)		98.2%	481	353	128
9月23日(日)		95.7%	468	340	128
9月24日(月)		98.8%	488	360	128
9月25日(火)		96.3%	466	342	124
9月26日(水)		97.0%	460	336	124
9月27日(木)		95.9%	473	349	124
9月28日(金)		91.5%	453	352	101
9月29日(土)		91.0%	406	356	90
9月30日(日)	台風24号により滑走路計画閉鎖	18.8%	92	66	26
9月全体 計画比		53.0%			

【航空旅客数】 関西エアポート株式会社「2018年9月利用状況(速報値)」

	航空旅客数	前年同期比
国際線	887,370人	-49%
国内線	329,497人	-45%
全体	1,216,867人	-48%